

九条塔南だより

令和2年2月4日

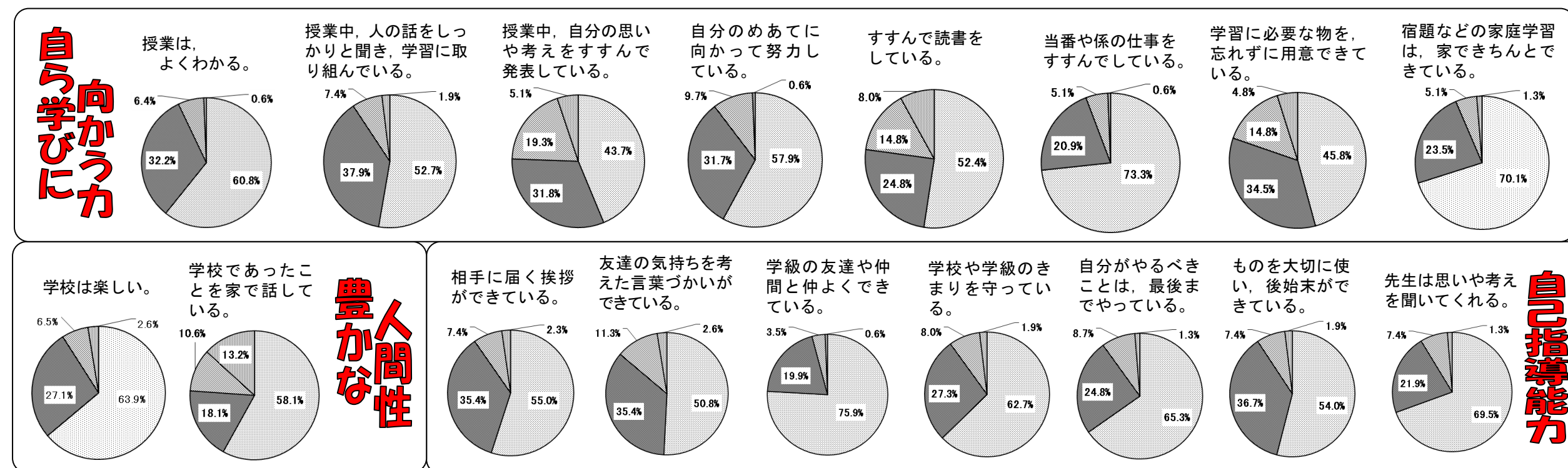
京都市立九条塔南小学校
校長 河井 誠人

後期学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。

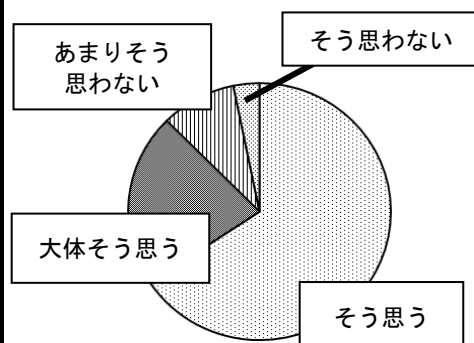
12月に実施しました、本年度2回目の「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。集計の結果をお知らせします。

学校評価は、学校家庭が相互に高め合うことを目的とし、よりよい学校づくりのため行っています。今年度は、学校教育目標の達成をめざし、「豊かな人間性」「自己指導能力」「自ら学びに向かう力」の3つの力の育成をめざし、教育活動に取り組んでいます。この3つキーワードを中心に、児童・保護者へのアンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

学校評価集計結果【児童へのアンケート】 令和元年12月実施



円グラフの見方



考察【児童へのアンケートについて】

- ・「自ら学びに向かう力」に関連する質問を見ると、学校や家庭で学びに向かおうとする姿勢が身についてきていることが分かります。特に、家庭学習はきっちりとやり切れていると子どもたちが実感しているようです。子どもたちの学びは学校だけでは終わりません。学ぶ姿勢や、学習習慣を身に付けておくことで、大人になっても「必要に応じて学び続ける」ことができる人になります。このような姿を目指し、学習の習慣を確立していけるよう支援してまいります。
- ・「自己指導能力」に関連する質問では、子どもたちはきまりを守りながら仲よく生活できている様子が見て取れます。また、「自分でやるべきことは最後までやりきる」こともできています。一方で、言葉づかいについてはこれからも指導・改善が必要だと思われます。「親しき仲にも礼儀あり」という言葉があるように、「相手がどう受け止めるか」を意識した言葉づかいができるよう支援をしてまいります。
- ・「豊かな人間性」に関連する質問では、9割以上の児童が「学校は楽しい」と回答しており、多くの児童が学校生活を楽しみ、充実した毎日を送っている様子がうかがえます。子どもたちは大きな行事だけではなく、日々の学習や友だちとの関わりの中で少しずつ成長していきます。学校であった事をぜひお家でも聞いていただき、成長を共に喜んだり、悩みに寄り添ったりしていただけると、子どもの人間性がより豊かになっていくと思います。

学校評価集計結果【保護者へのアンケート】令和元年12月実施

子どもは、家で進んで読書をしている。

重要度	実現度
5.9	3.7
ニーズ度	
25.4	

子どもは、家庭学習の習慣が身についている。

重要度	実現度
6.5	4.9
ニーズ度	
20.2	

地域の図書館を利用するなど、本にふれ合わせたり、読み聞かせをしたりしている。

重要度	実現度
5.6	3.4
ニーズ度	
25.8	

子どもは、明るく元気なあいさつができています。

重要度	実現度
6.7	5.0
ニーズ度	
20.1	

「おはよう」や「おかえり」などのあいさつを大人からするようにしている。

重要度	実現度
6.6	5.4
ニーズ度	
16.6	

子どもは、誰とでもなかよくできている。

重要度	実現度
6.1	5.3
ニーズ度	
16.5	

社会や人の役に立つよい行いや努力をする姿をほめ、大人も見本となるよう心がけたり、声をかけたりしている。

重要度	実現度
6.3	5.1
ニーズ度	
18.3	

授業は、分かりやすく工夫されている。

重要度	実現度
6.7	5.8
ニーズ度	
14.7	

子どもが家庭で学習できるように、環境を整えたり、声かけをしたりしている。

重要度	実現度
6.4	5.4
ニーズ度	
16.6	

自ら学びに向かう力

子どもは、楽しく学校生活を送っている。

重要度	実現度
6.8	5.9
ニーズ度	
14.3	

学校やPTA、地域などの行事や取組に進んで大人も参加し、まわりの人とかわろうとしている。

重要度	実現度
5.7	4.6
ニーズ度	
19.4	

参観や懇談会などに参加し、学校の様子を知ろうとしている。

重要度	実現度
6.3	5.3
ニーズ度	
17.0	

子どもの話をよく聞いたり、親子のふれあいの時間をとりするように心がけている。

重要度	実現度
6.6	5.4
ニーズ度	
17.2	


気になることがあれば、気軽に学校に相談できる。

重要度	実現度
6.6	5.3
ニーズ度	
17.8	

学校は、おたよりやホームページなどで学校の様子を積極的に伝えている。

重要度	実現度
6.4	5.6
ニーズ度	
15.4	

豊かな人間性



点数が高いほど、保護者の方が「大切だ」と考えていることを意味します。(最大7点)

重要度

点数が高いほど、保護者の方が、子どもの姿から「実現できている」と感じていることを意味します。(最大7点)

実現度

保護者の方が「大切だ」と思っても、実際には「実現できていない」と感じている場合に高い点数が出ます。そのため、点数が高いほど、理想と現実には差があり、課題のある状態であることを意味しています。

ニーズ度

学校関係者による評価

- ・学年間だけではなく、学年を越えてとてもなかよく遊んでいる様子をよく見かける。たてわりの活動や、異学年での交流の成果だと思う。その一方で、下級生が上級生を呼び捨てにしたりするなど、きつく言っている場面も見かける。仲が良いことはとてもいいことだが、社会に出ると立場をわきまえた言動も必要となる。そのあたりのことも、子どもたちに教えていくことが大切ではないだろうか。
- ・何かをするのに、必ず大人に聞いてくる子どもがいる。自分で考え、行動できる力を身に付けてほしい。
- ・公立図書館が遠く、図書館に行く習慣がなかなか身につかないのではないかな。地域全体で本と関われる対策を講じられたらよいのではと思う。

考察【保護者へのアンケートについて】

・アンケートからは、子どもが健やかに、そして落ち着いて学習に臨めるよう、家庭でも声かけをしてくださっていたり、環境を整えてくださっている様子がうかがえます。本校の取組について、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。保護者や地域の皆さまのご支援をいただいたことが、子どもたちの、「明るく元気な姿」や「誰とでも仲よくできている姿」につながっていることと思います。

・「読書」に関する項目が、いずれもニーズ度が高くなっており、保護者の皆さまが「大切だ」と思っている一方で、実現しきれていないと感じられていることが伺えます。本に触れ、物語の世界や先人の教えなどに触れることは、子どもたちの語彙を増やすだけではなく、感受性や世界観の広がりにもつながります。地域の図書館でも毎月様々なイベントが行われています。日々ご多忙のことと思いますが、子どもたちが本に触れる機会をぜひつくっていただければありがたいです。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。